

令和4年度 全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は佐賀県学力学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となっています。

各学校のホームページには、学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 小学校（11校）全体

令和4年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査結果を受けた取組について

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

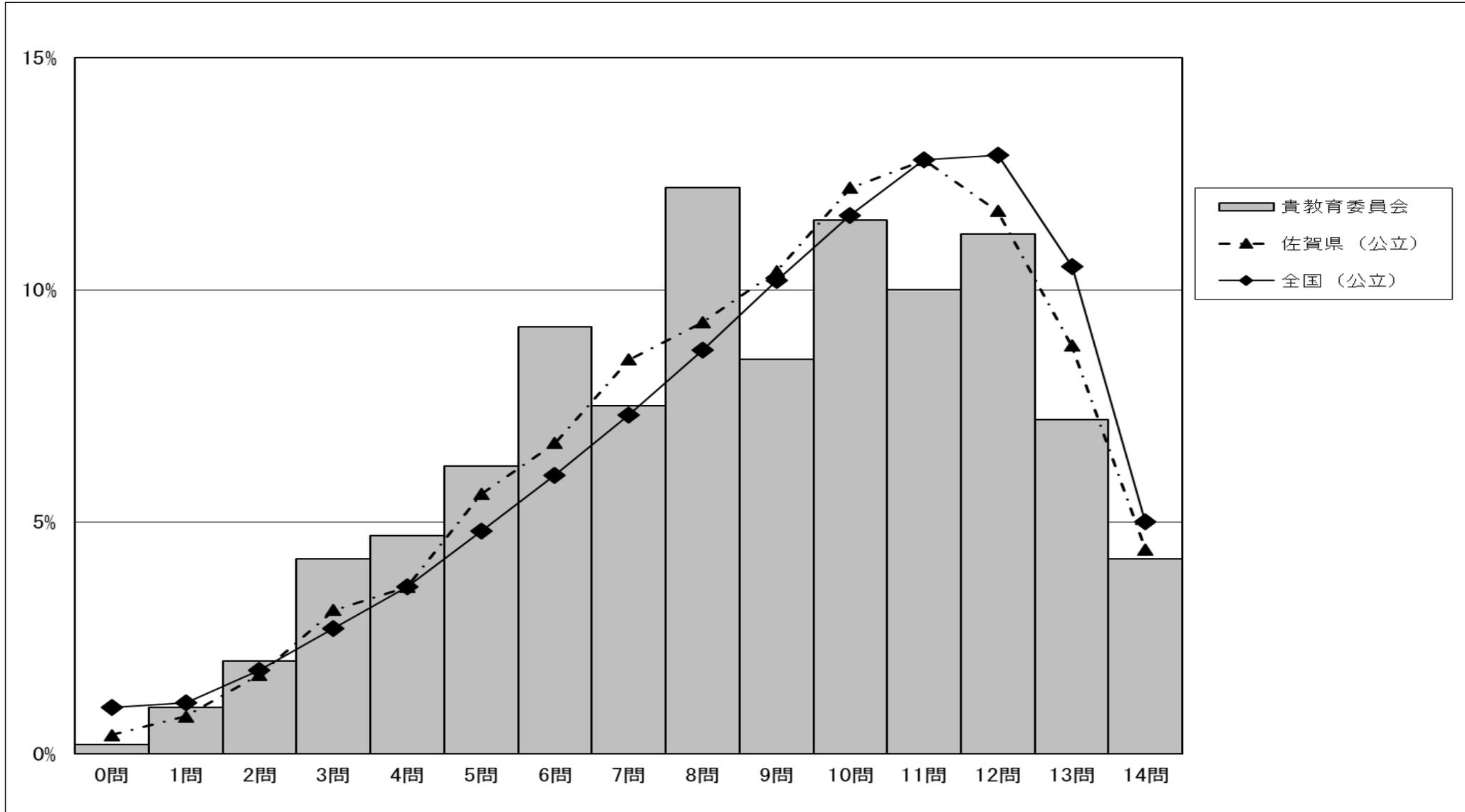
	国語		算数		理科	
	5年時	6年時	5年時	6年時	5年時	6年時
H29 入学 現6年生	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	全国 (4月)
	56.7	62.0	40.4	59.0	\	57.0
	(0.97)	(0.97)	(0.96)	(0.95)		(0.92)
	R4 正答率の全国比	0.95	\	0.93	\	0.90

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

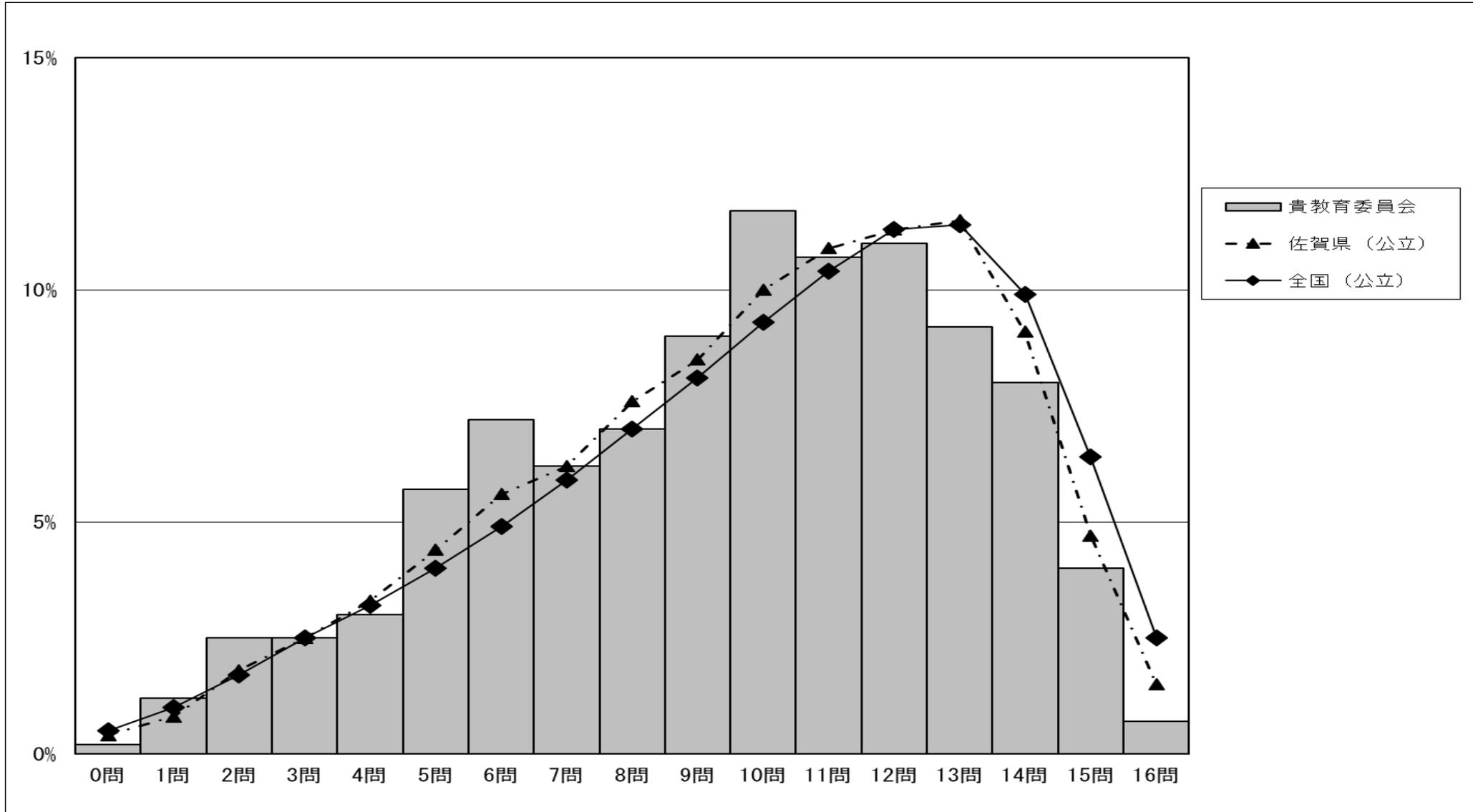
◎「令和4年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（小6国語）



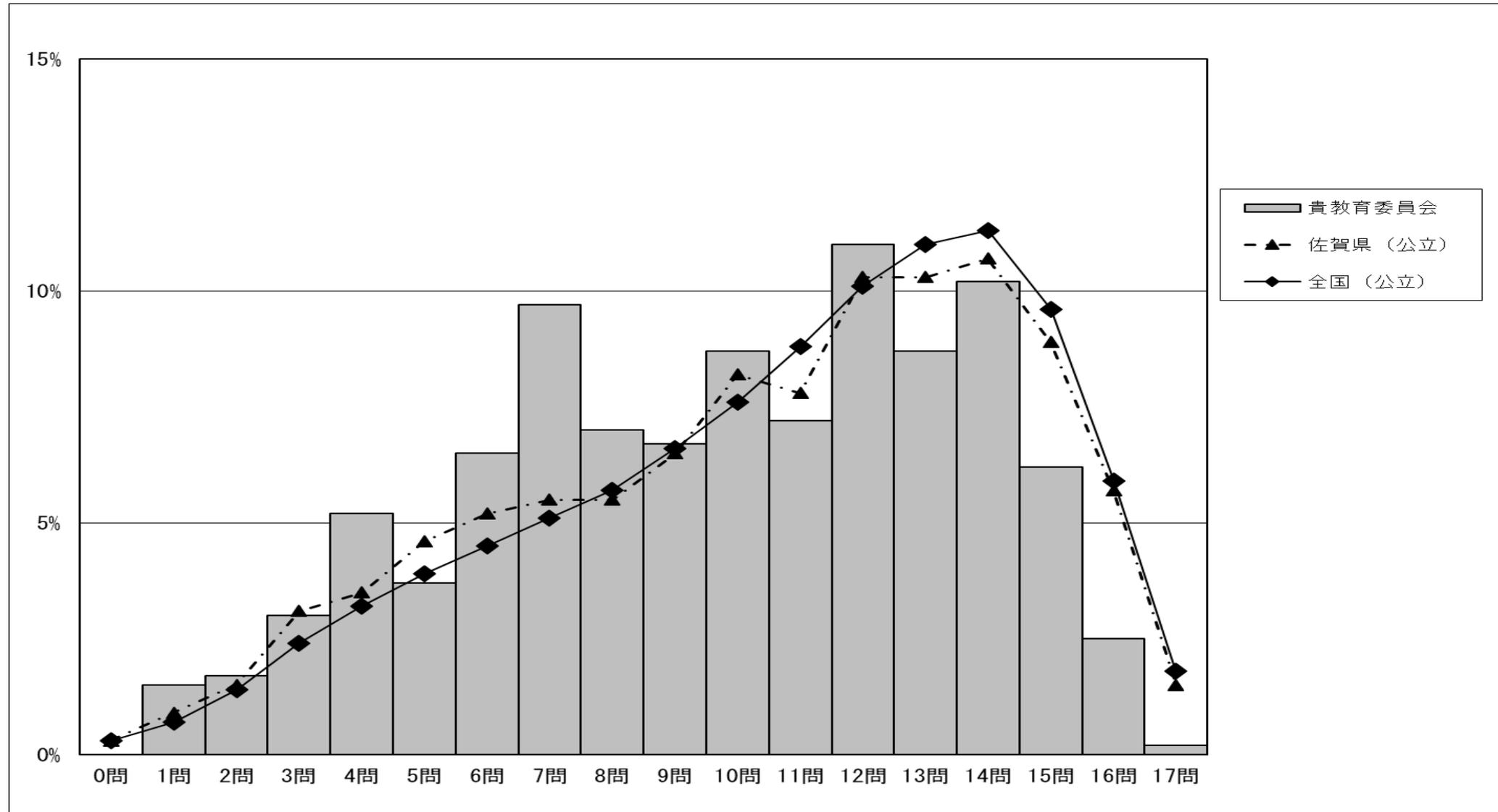
文部科学省 令和4年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（小6算数）



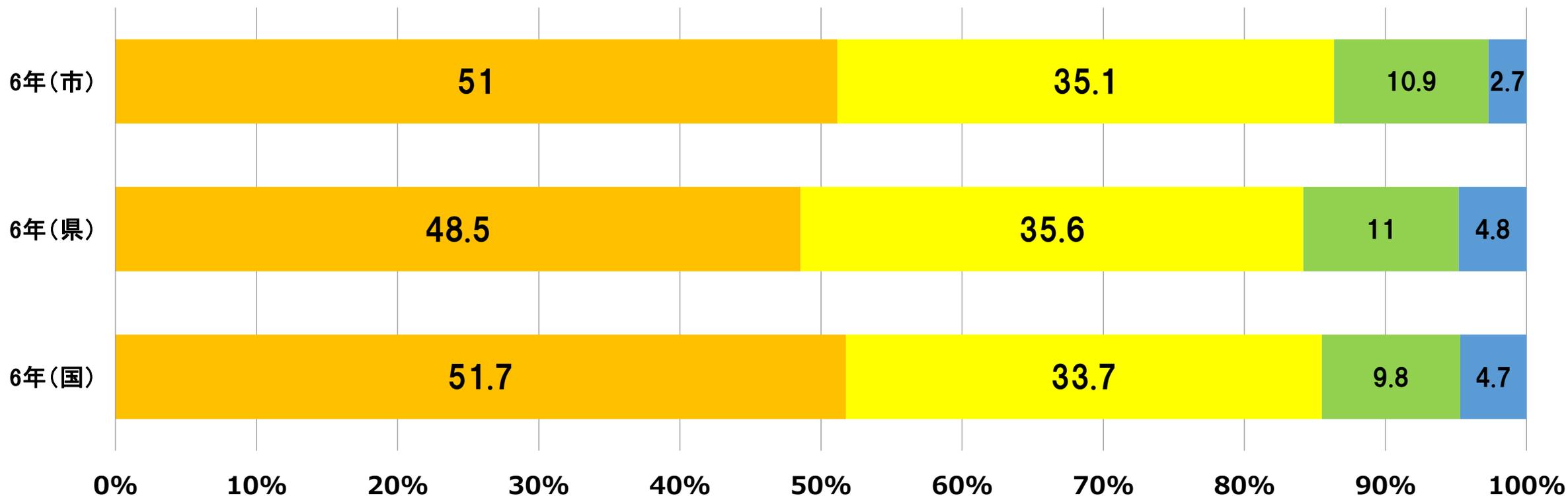
文部科学省 令和4年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（小6理科）



文部科学省 令和4年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

学校に行くのは楽しいと思いますか



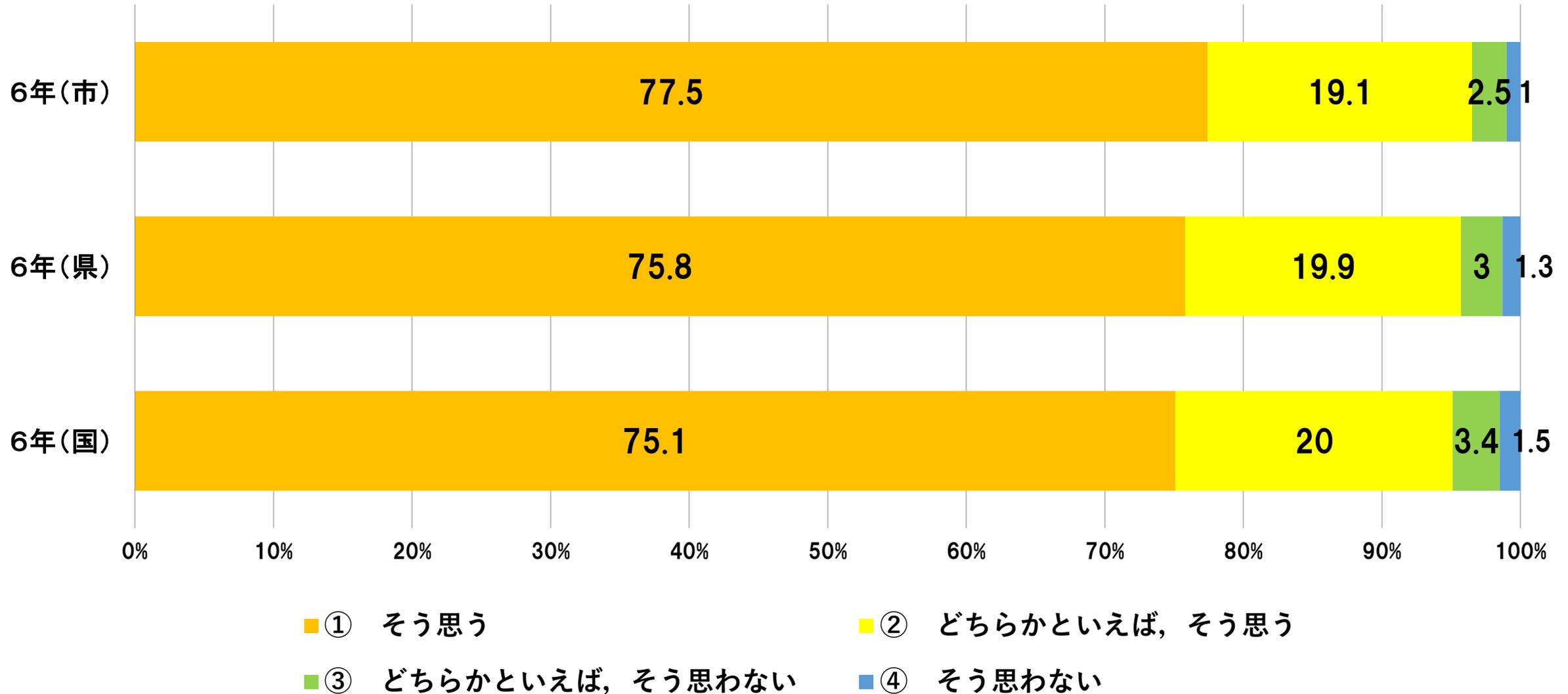
■ ① 当てはまる

■ ② どちらかといえば、当てはまる

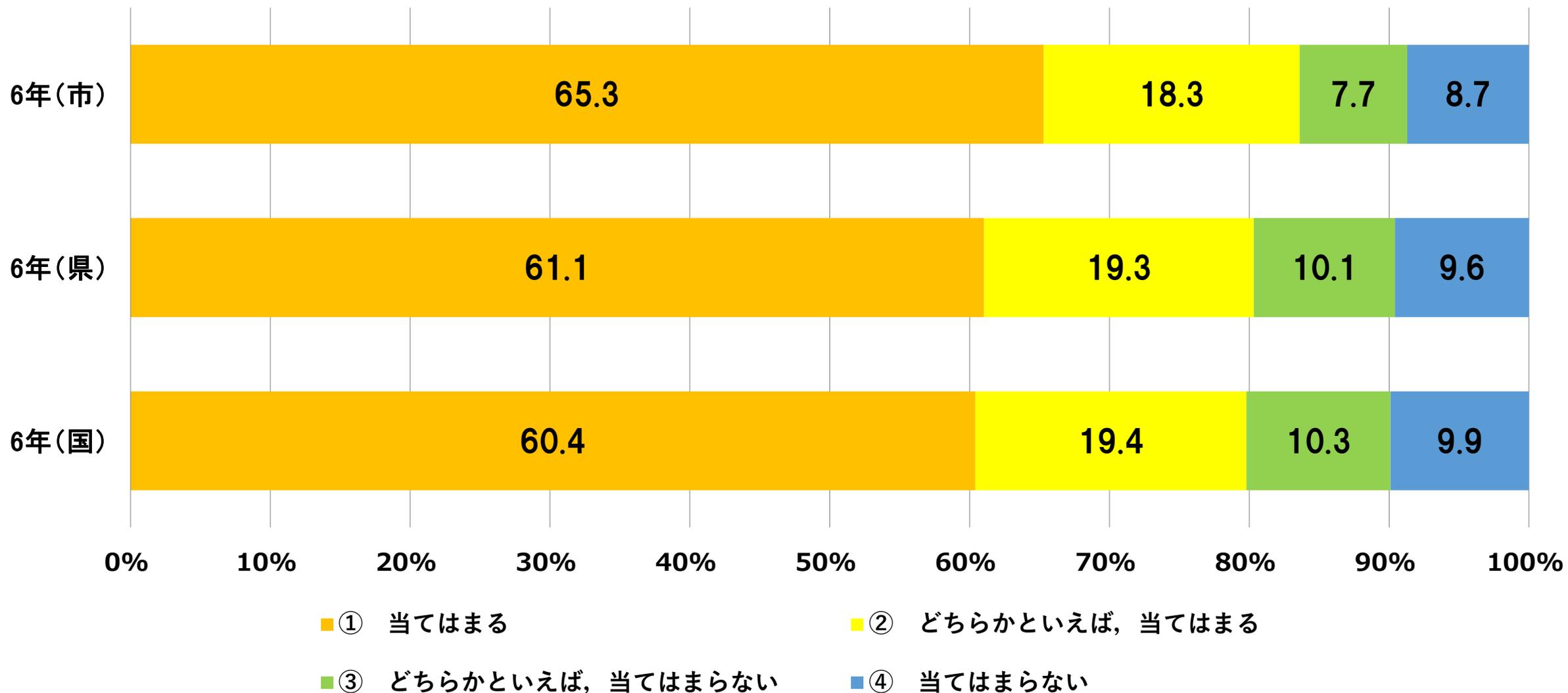
■ ③ どちらかといえば、当てはまらない

■ ④ 当てはまらない

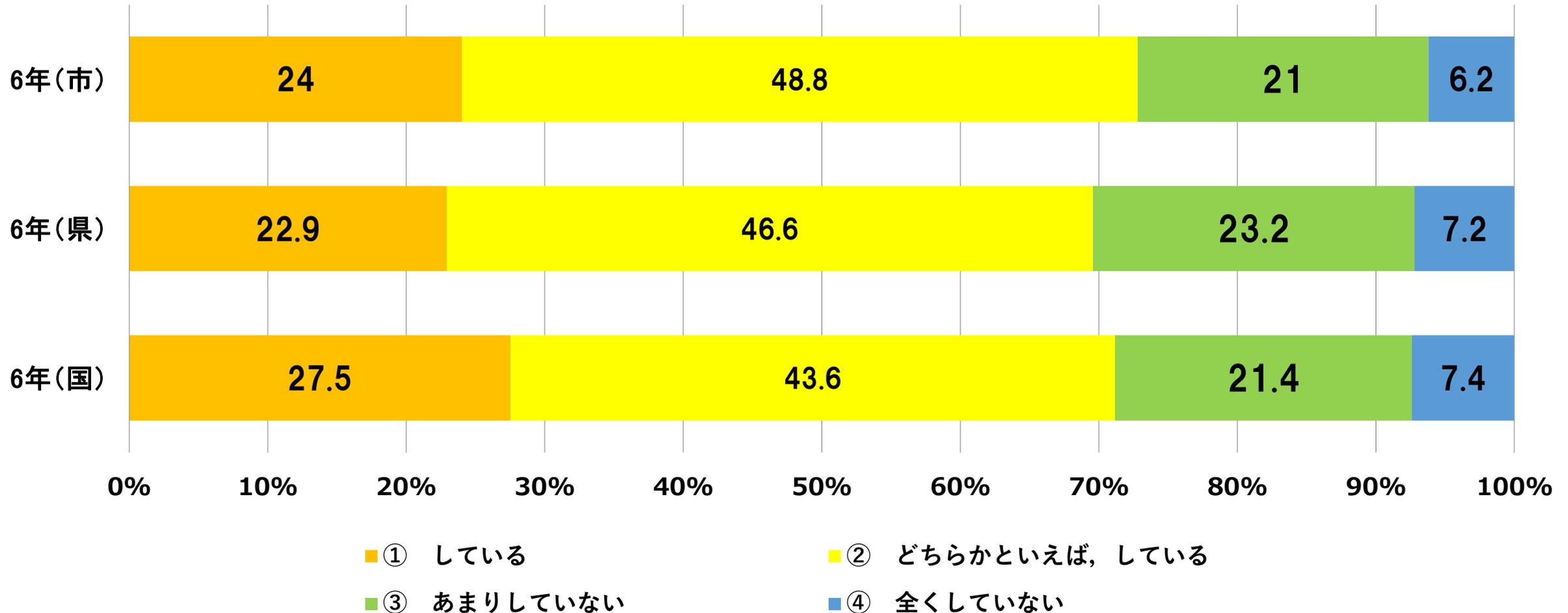
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



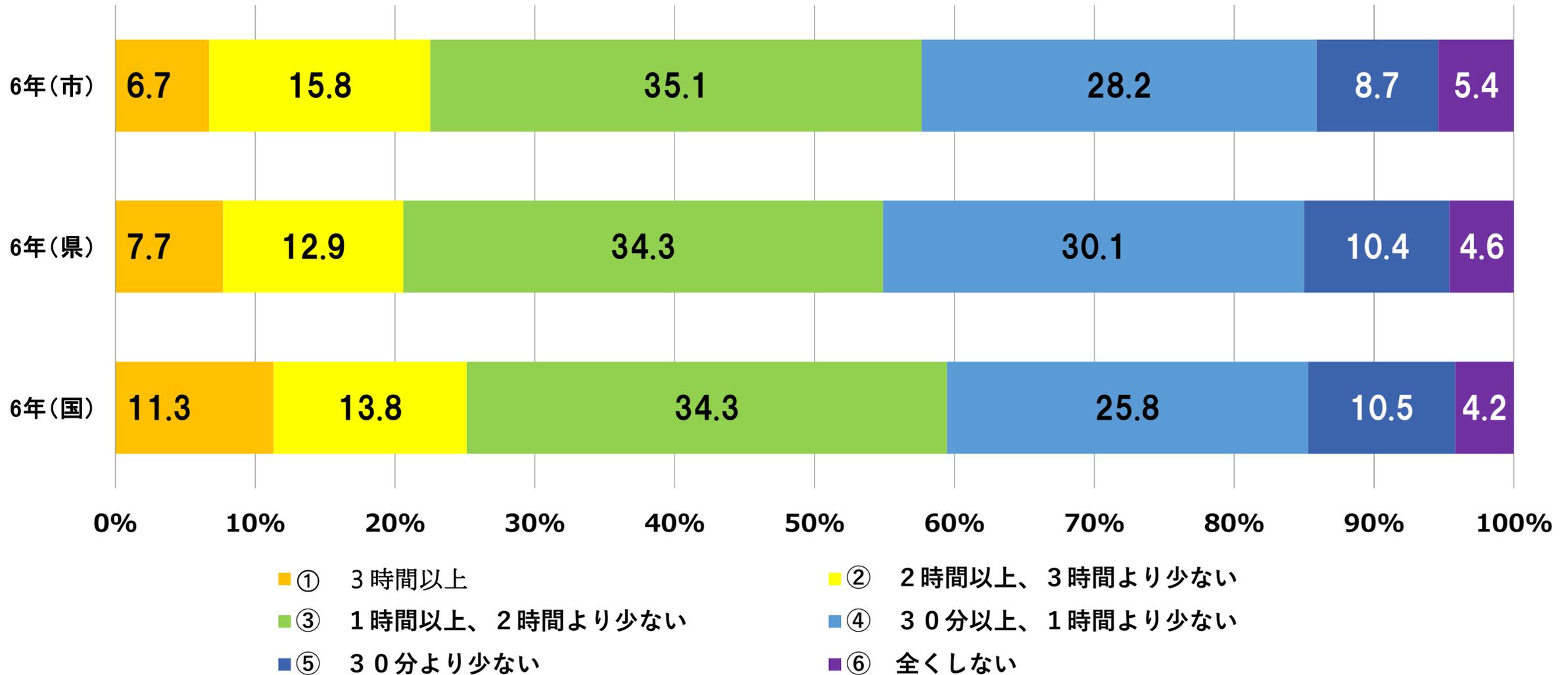
将来の夢や目標を持っていますか



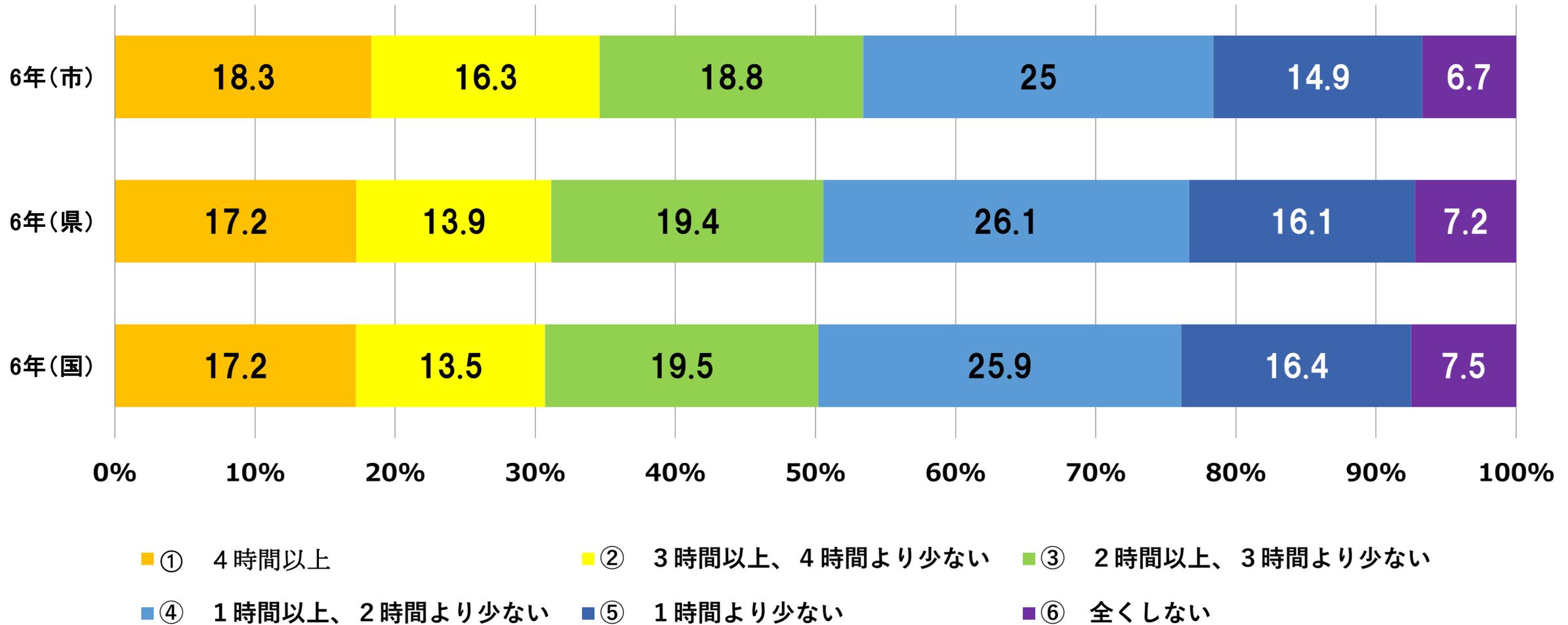
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



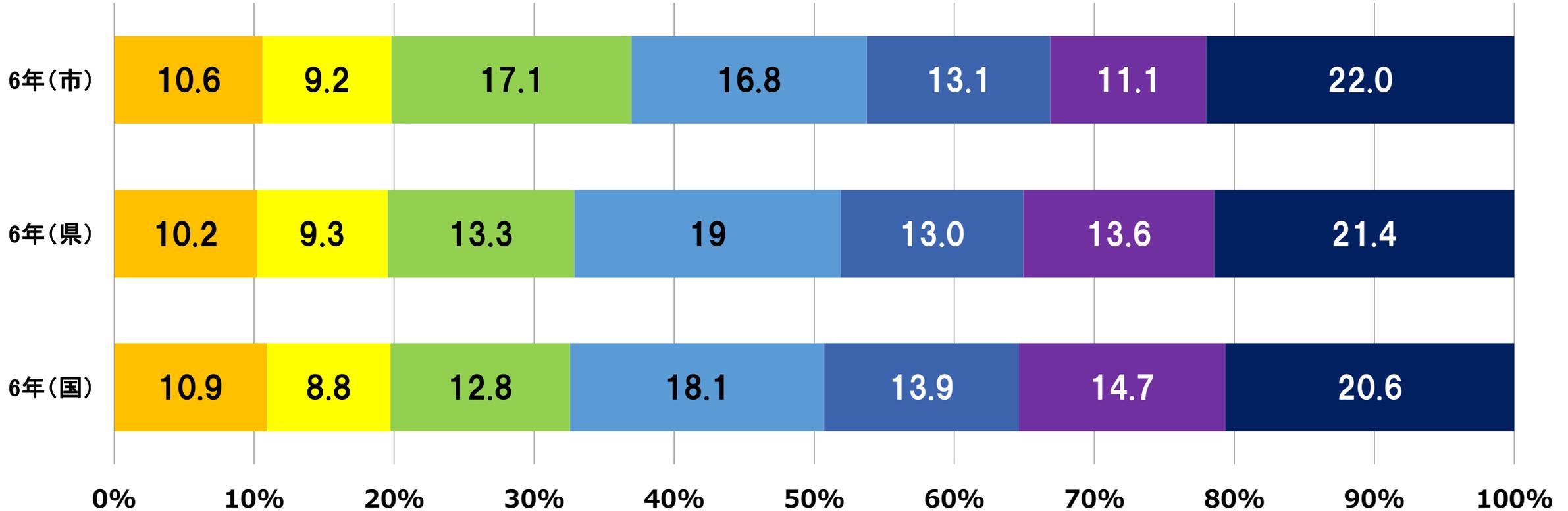
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしていますか

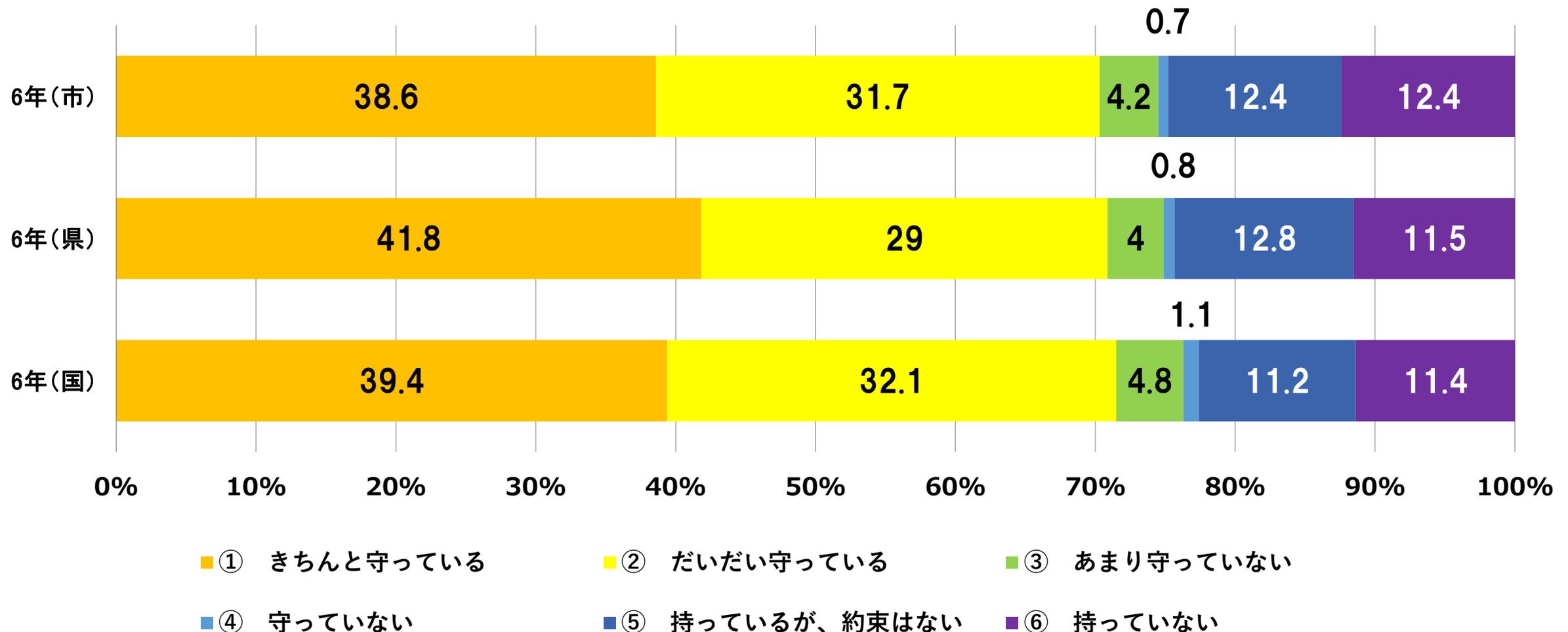


普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

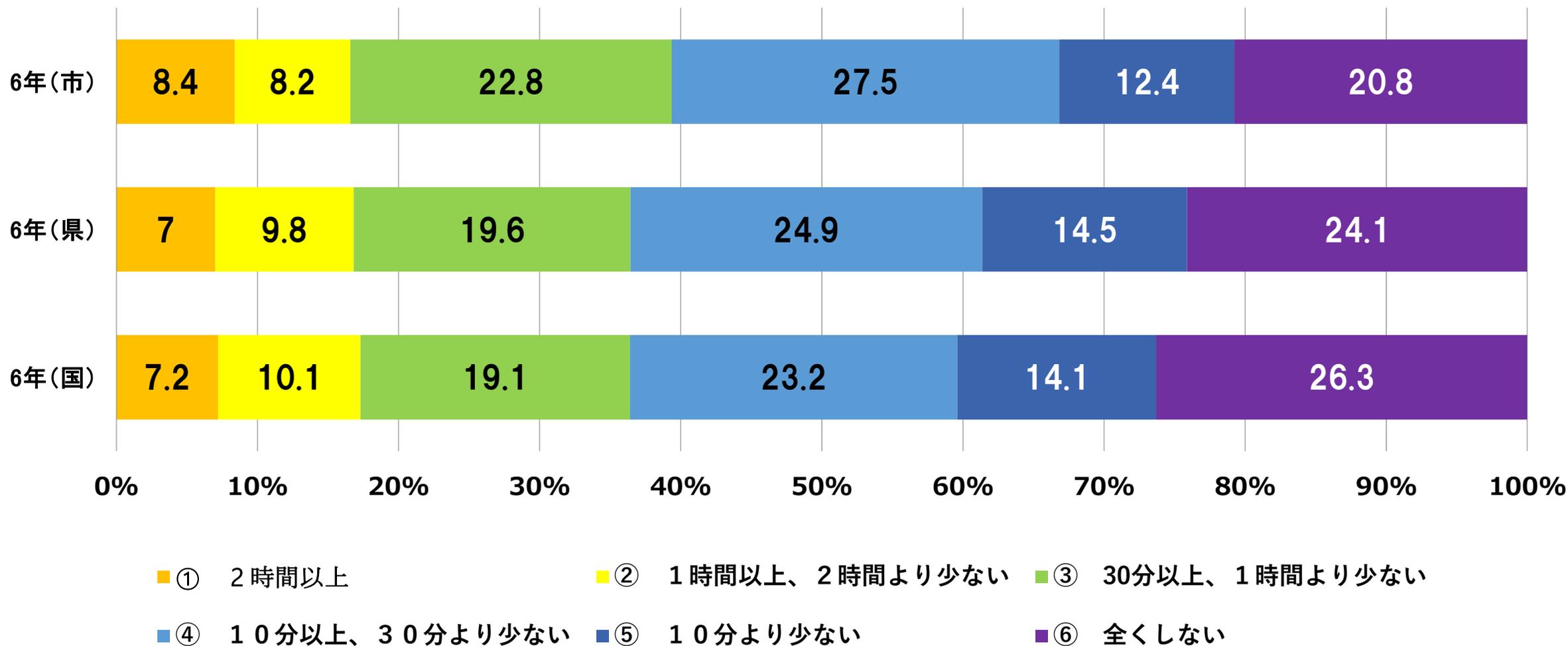


- ① 4時間以上
- ② 3時間以上、4時間より少ない
- ③ 2時間以上、3時間より少ない
- ④ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑤ 30分以上1時間より少ない
- ⑥ 30分より少ない
- ⑦ 携帯電話やスマートフォンをもっていない

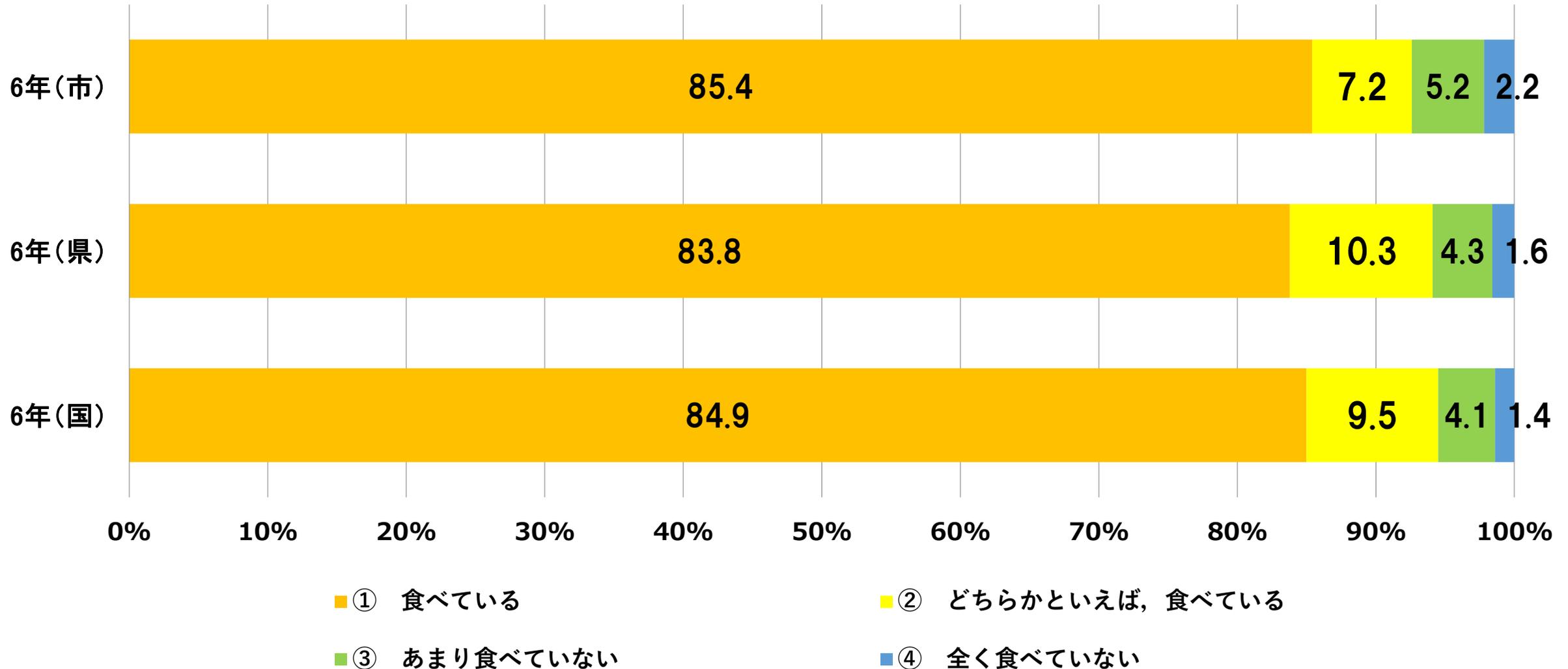
携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



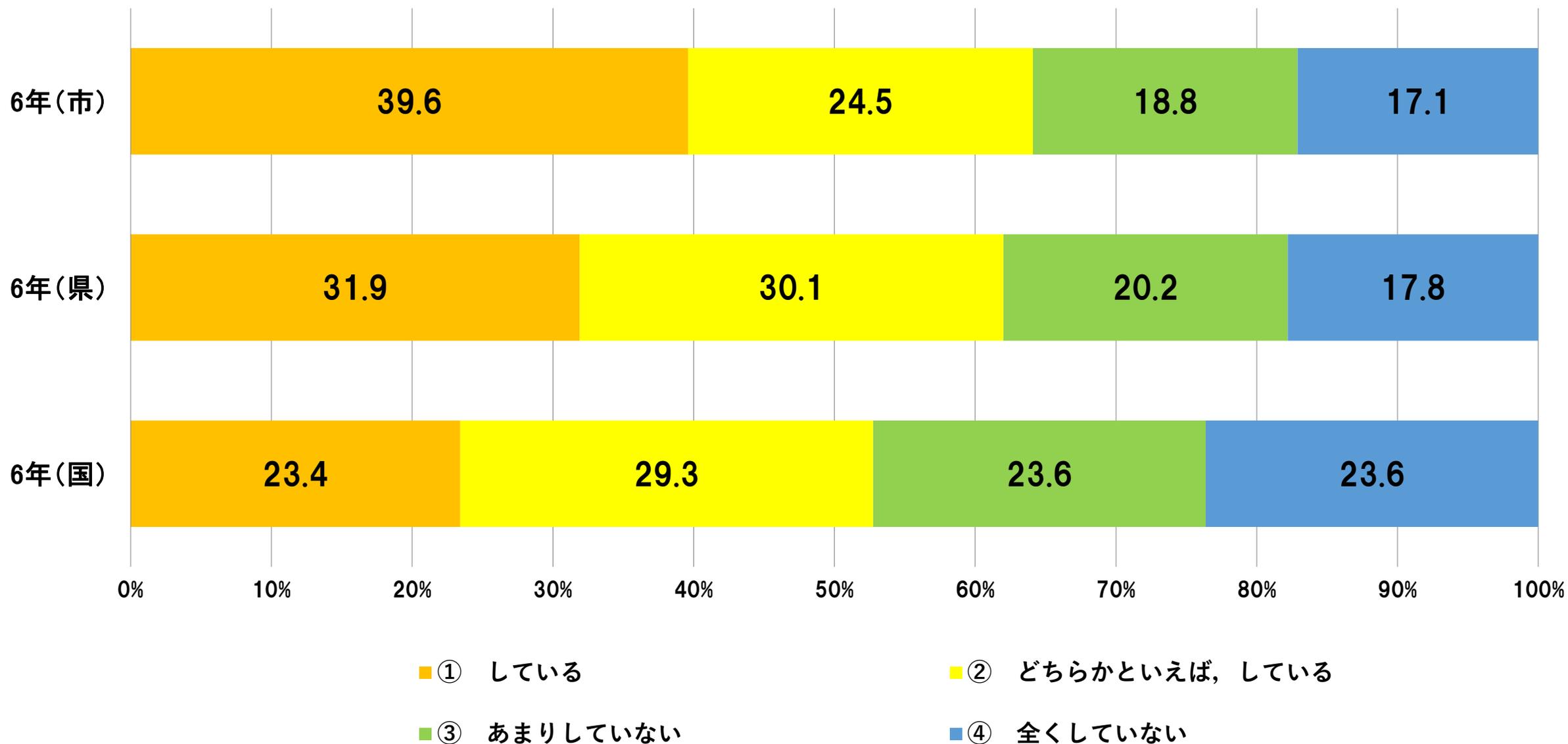
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



朝食を毎日食べていますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか



(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態（小学校）

- 国語の調査では、全国を0.05、県を0.03ポイント下回った結果であった。算数は、全国を0.07ポイント、県を0.05ポイント下回った結果であった。理科は、全国を0.1ポイント、県を0.08ポイント下回った結果であった。
- 国語は、昨年度と比較すると、高得点層の中でも正答数が12問以上（問題数全14問）の割合は、昨年度を4.4ポイント上回った。全国との12問以上の正答率の割合も昨年度と比較すると、0.3ポイント縮まった。中・低得点層の正答率を全国と比較すると、昨年度より若干差が広がったため、全体的な底上げが必要である。算数は、昨年度と同様の傾向で、中・低得点層の底上げが必要である。理科も算数と同様の傾向である。
- 意識調査の「学校の授業時間以外で1日当たりどのくらい勉強しているか」という質問に対して、昨年度の6年生の児童が「1時間以上3時間以内」と回答した割合は、県を4ポイント下回り、全国を7.4ポイント下回っており、家庭での学習時間が減少傾向にあった。しかし今年度は、全国を1.8ポイント下回ったものの、県は2.7ポイント上回り、改善傾向にある。一方で、土日の学習時間は、「1時間以上」と回答した割合は、依然として県、全国共に下回っている。
- 意識調査の「自分で計画を立てて勉強していますか。」という質問に対しては、昨年度の6年生は県を2ポイント、全国より7.2ポイント下回っていたが、今年度は、県を3.3ポイント、全国を1.7ポイント上回り、改善している。
- 意識調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、昨年度は、77.1%の児童が肯定的な回答をし、全国、県共に下回っていたが、今年度は86.1%の児童が肯定的な回答をし、県、全国共に若干ではあるが、上回り、改善している。
- 意識調査の「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対しては、昨年度は県を3.8ポイント、全国を4.5ポイント下回っており、自己肯定感に課題が見られたが、今年度は、約8割の児童が肯定的な回答をしており、県を1.8ポイント、全国を0.6ポイント上回っており、改善している。
- 意識調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して、昨年度は「当てはまらない」と回答した児童が、県、全国の2倍の割合いたが、今年度は県の1/2、全国の1/4と改善している。
- 意識調査の「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」と「普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」という質問に対しては、どちらも、県、全国と比較すると約束の遵守や使用時間に課題が見られた。また、テレビゲームや動画視聴時間が長いほど、正答率は下がる傾向がみられた。

2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

○学習状況調査結果を受けて

- 正答数分布グラフに見られるように、低得点層の底上げと高得点層の拡大が課題である。調査対象学年だけでなく、他の学年でも学力向上について研修を行い、引き続き実践していく。
- 誤答分析を行って、課題を見つけ、授業や宿題等で補充学習する機会を必ず設ける。
- 新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の改善や職員の指導力向上に努める。
- ICT機器の有効活用の在り方をさらに研修し、ICT機器を積極的に活用した授業の実践につなげる。
- 武雄市では、県の指定や委託を受けて、研究、実践に取り組んでいる。指定校や実践校での取組を市内の小中学校に広げるために、公開授業等への積極的な参加を奨励する。

○意識調査の結果を受けて

- 今回は昨年度よりも多くの質問で、肯定的な回答が増加した。特に、「学校に行くのは楽しいと思いますか」と「自分には、よいところがあると思いますか」では、昨年度より肯定的な回答が10ポイント程度増加した。引き続き、コロナ禍ではあるが、各学校で様々な工夫をしながら教育活動を進めていく。
- 家庭での1時間以上の学習時間についても、昨年度より改善している。しかし、「自分で計画を立てて学習している」と回答している児童は7割程度いるが、1時間以上学習している児童は6割に満たないので、自分の学習計画と実際の学習時間の相関関係について、児童自身が振り返る機会を必ず設ける。
- 携帯電話やスマートフォンの家庭での使用時間と約束の遵守に課題が見られたので、これらとの付き合い方について、家庭と連携しながら進めていきたい。

実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 中学校（5校）全体

令和4年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査結果を受けた取組について

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

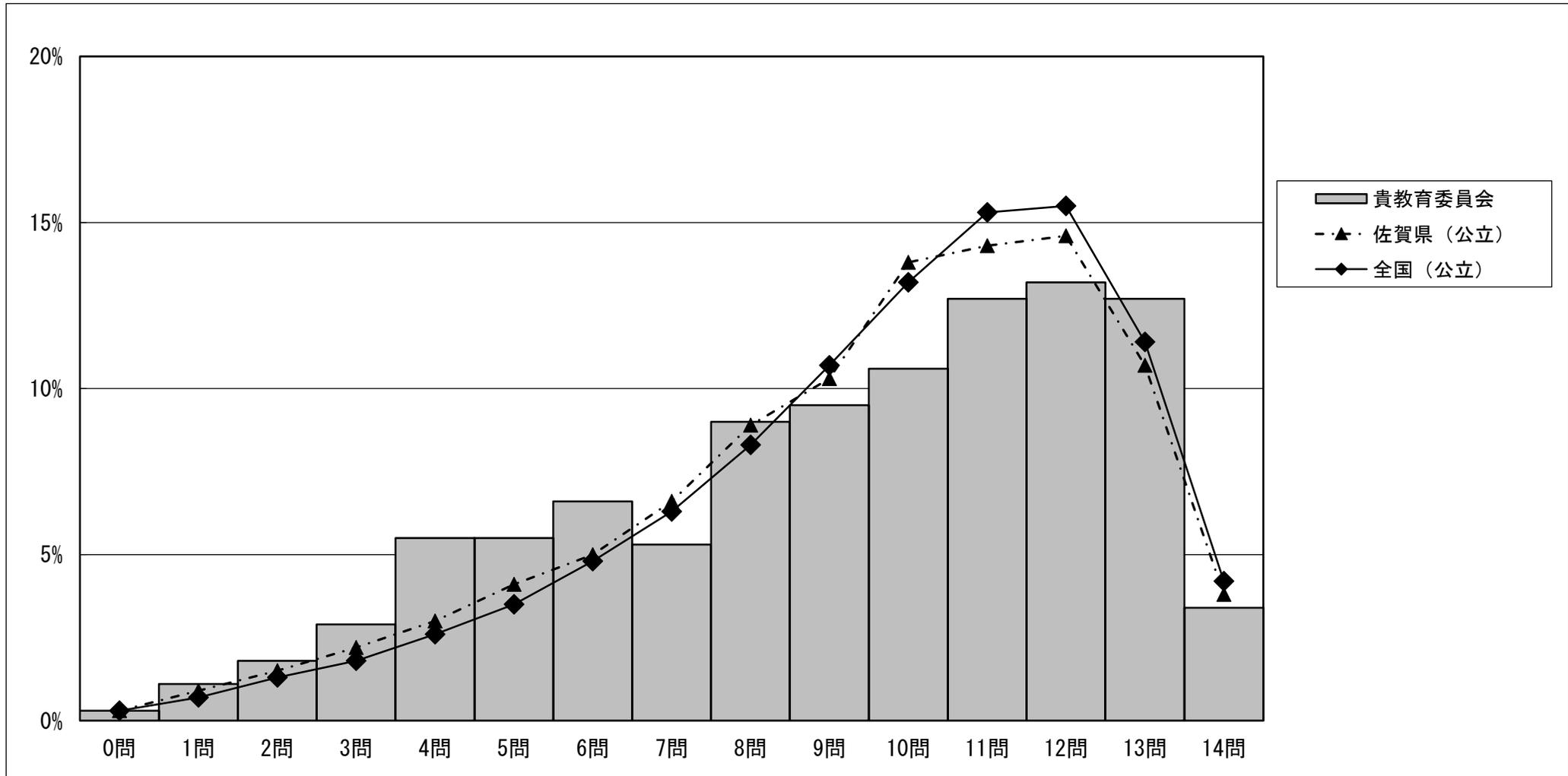
	国語			数学			理科		
	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時
R2入学 現3年生	県	県	全国	県	県	全国	県	県	全国
	(12月)	(12月)	(4月)	(12月)	(12月)	(4月)	(12月)	(12月)	(4月)
	60.9	65.0	65.0	49.0	49.4	44.0	47.4	49.6	45.0
	(0.97)	(0.98)	(0.96)	(0.87)	(0.96)	(0.94)	(0.80)	(0.92)	(0.94)
R4正答率の全国比			0.94			0.86			0.91

◎1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

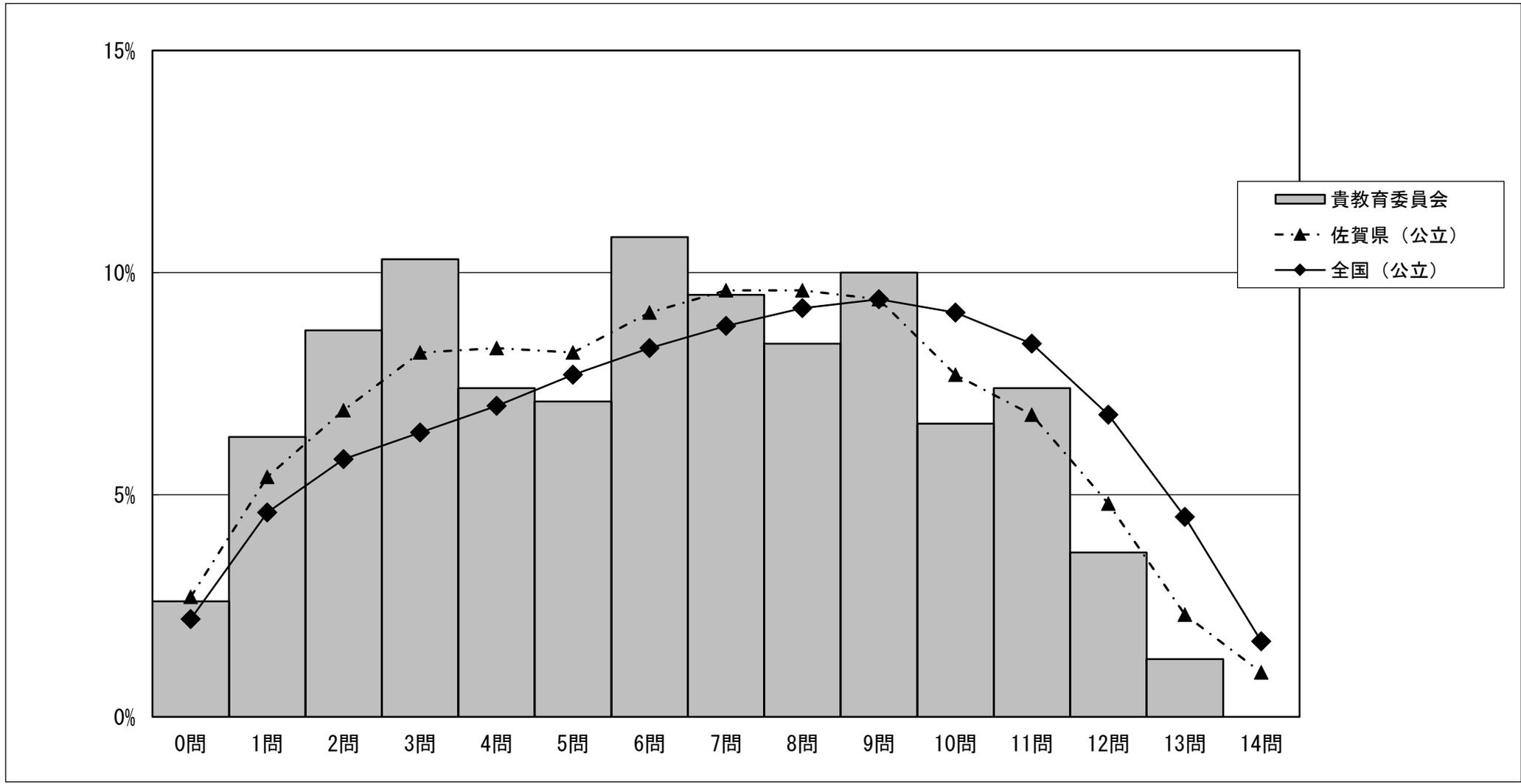
◎「令和4年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（中3国語）

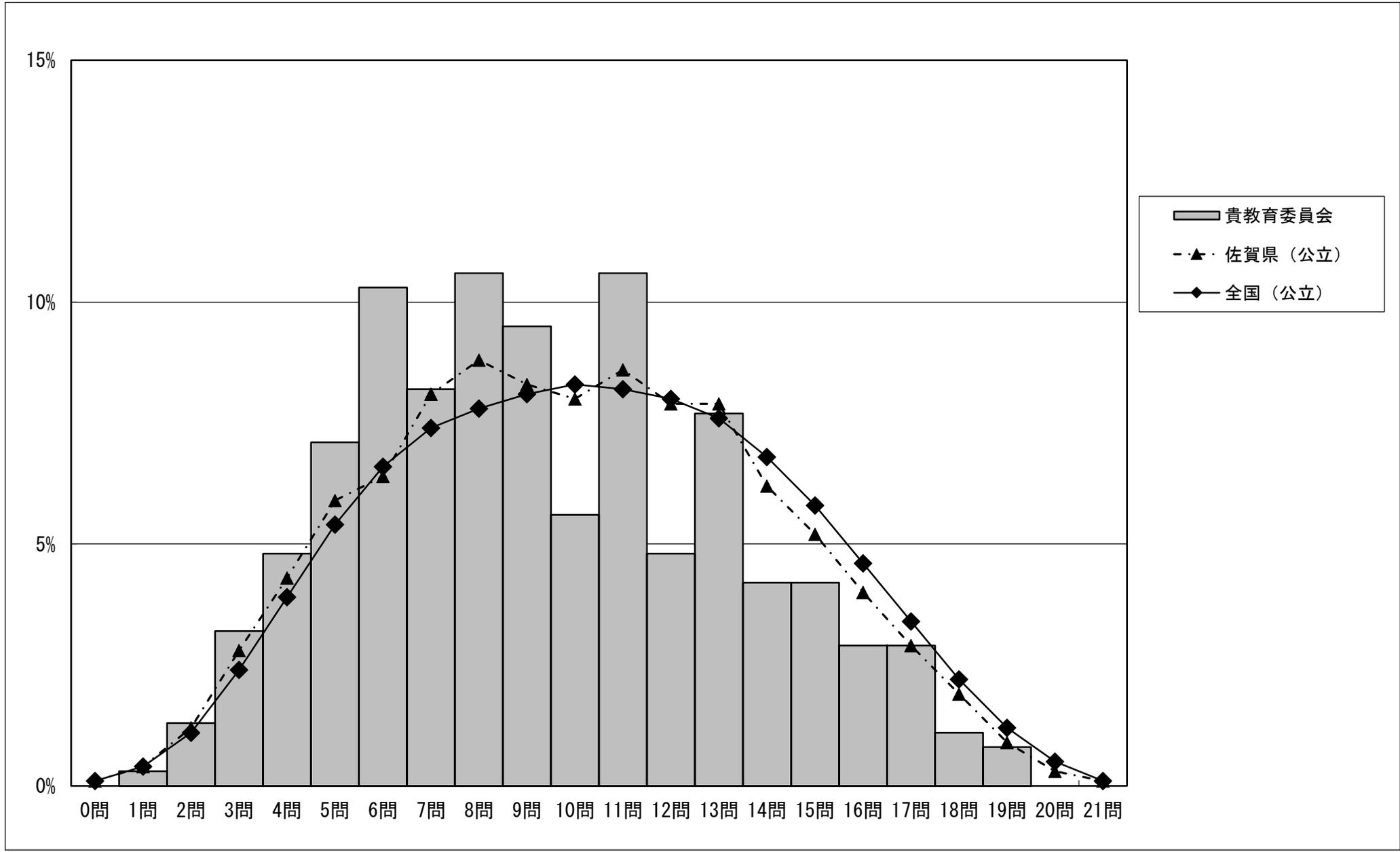


文部科学省 令和4年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（中3数学）

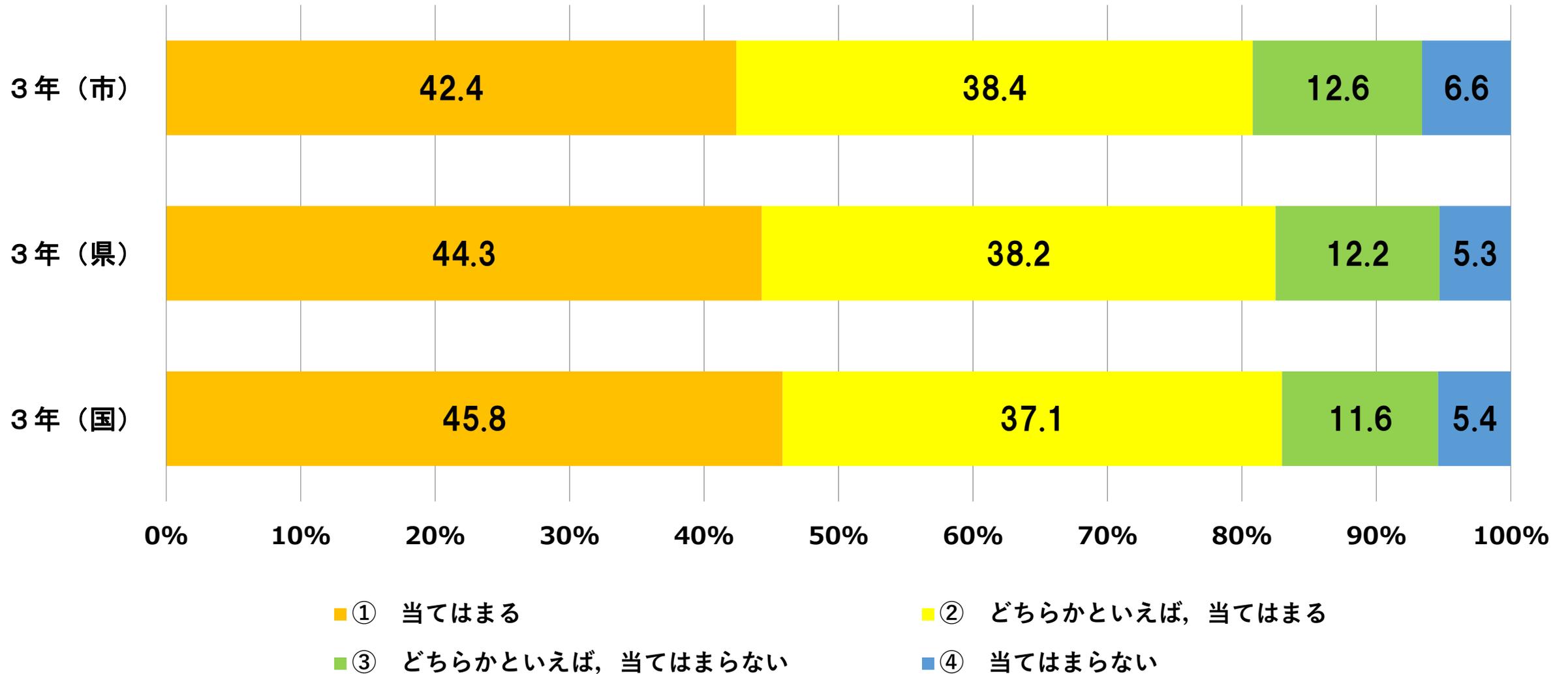


文部科学省 令和4年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

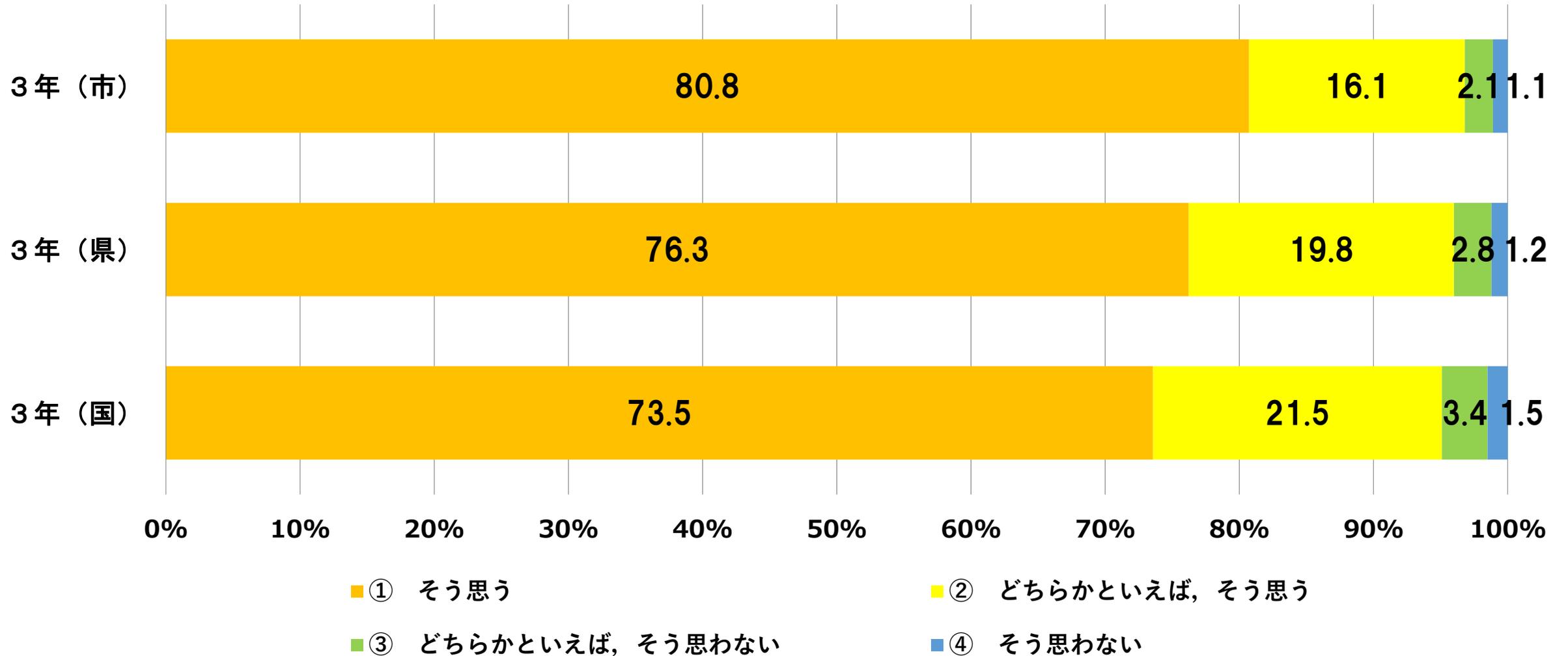


文部科学省 令和4年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

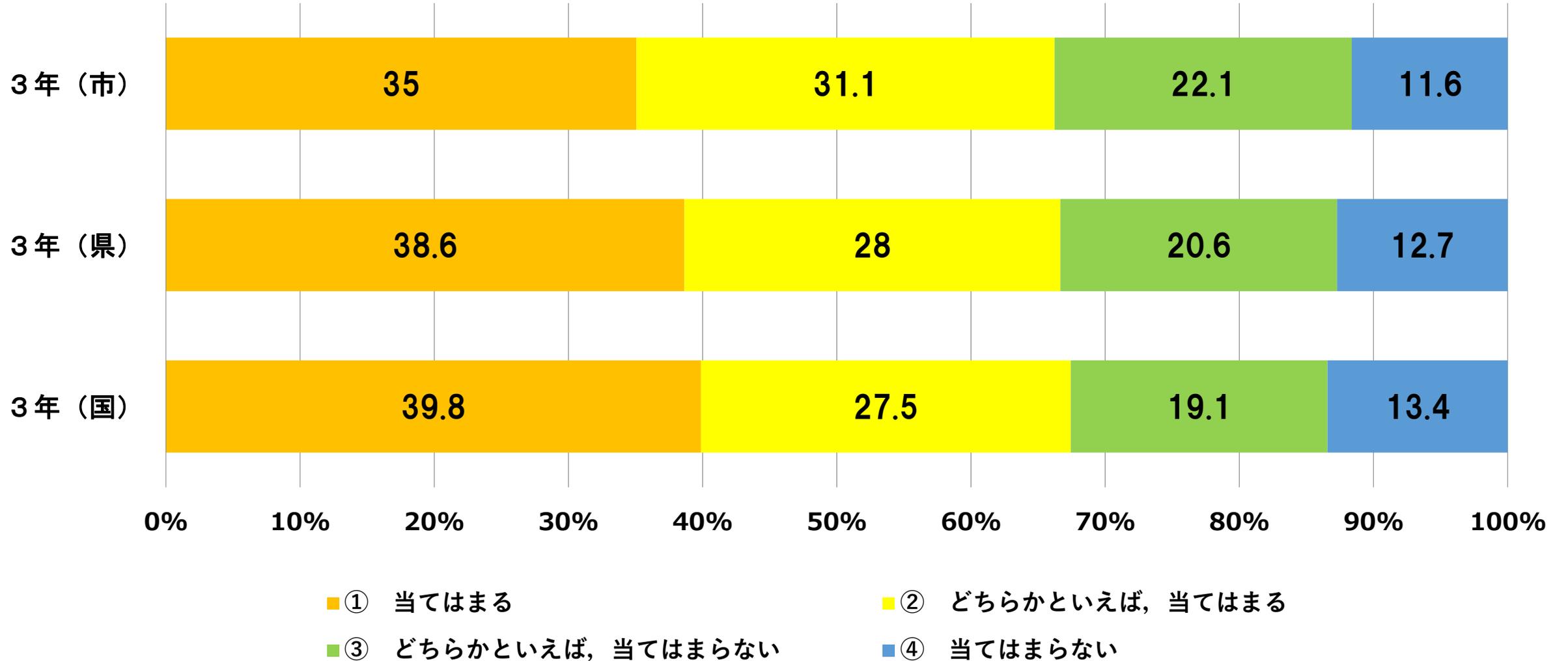
学校に行くのは楽しいと思いますか



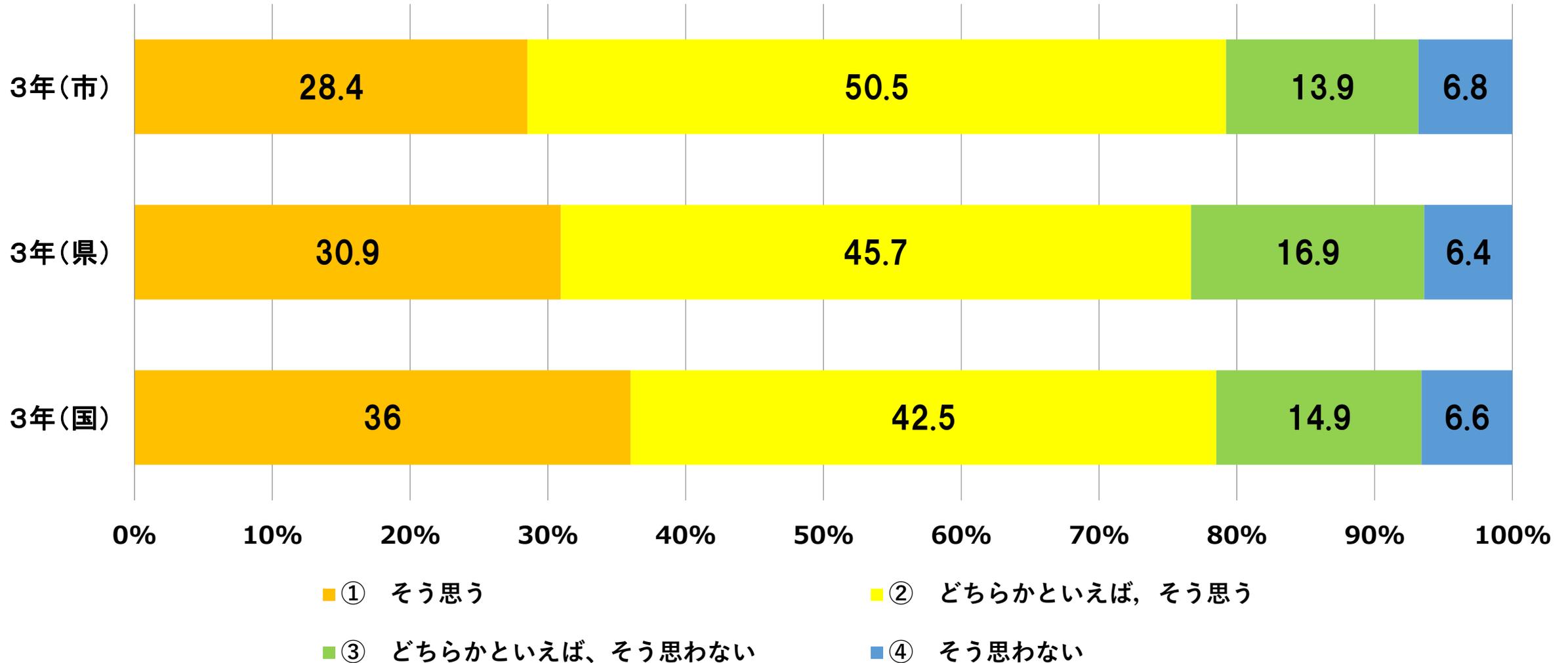
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



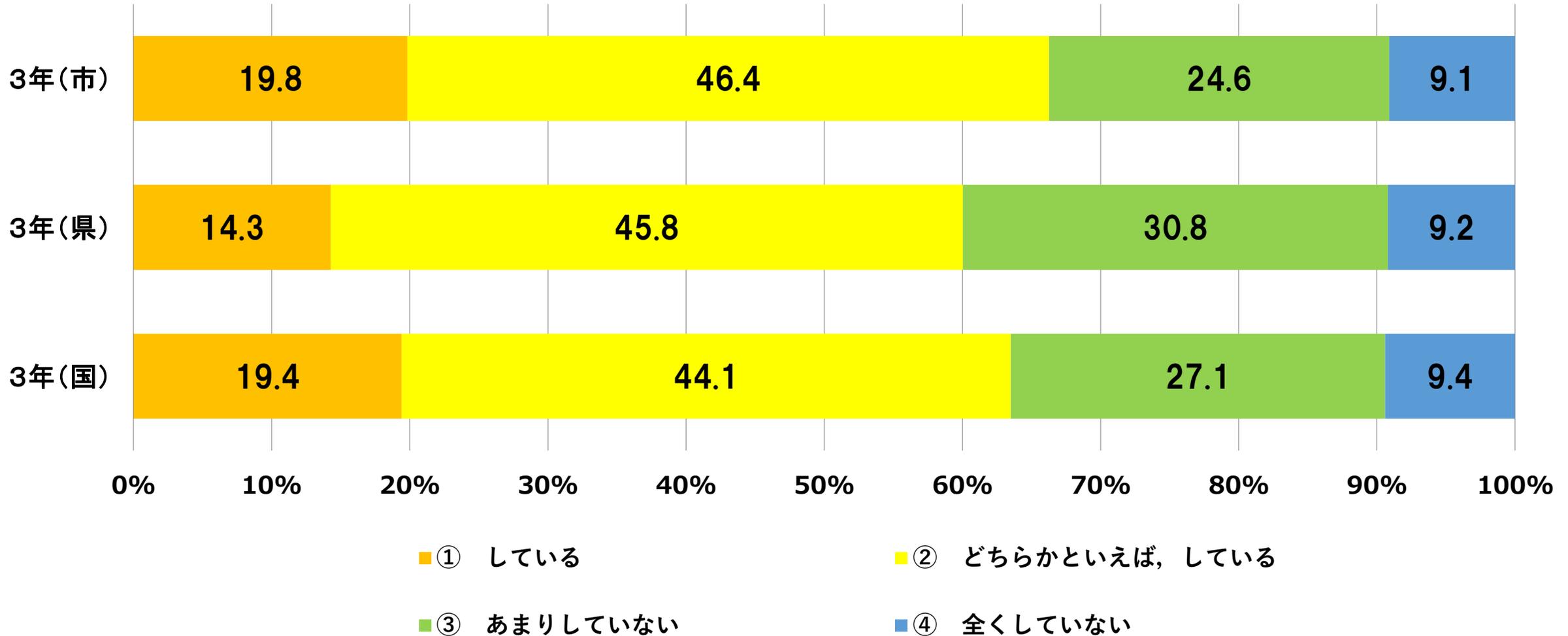
将来の夢や目標を持っていますか



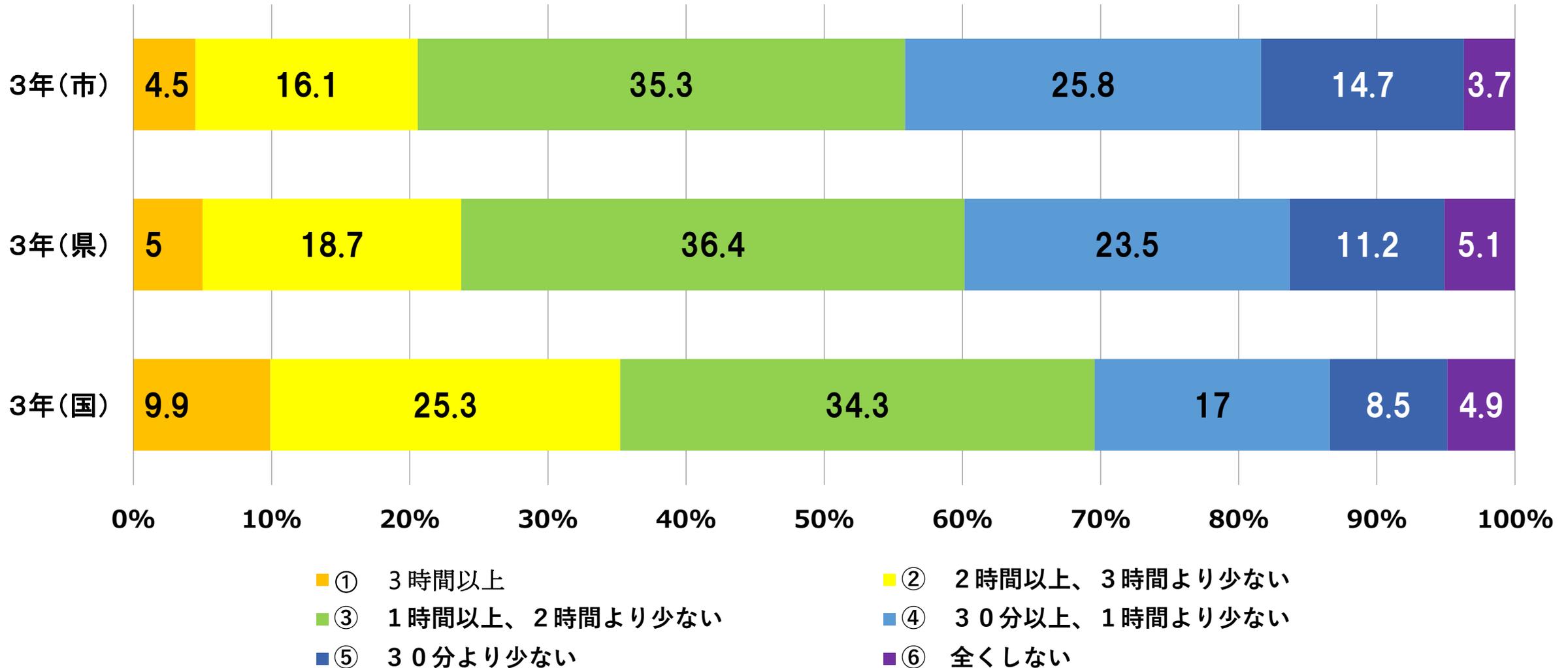
自分には、よいところがあると思いますか



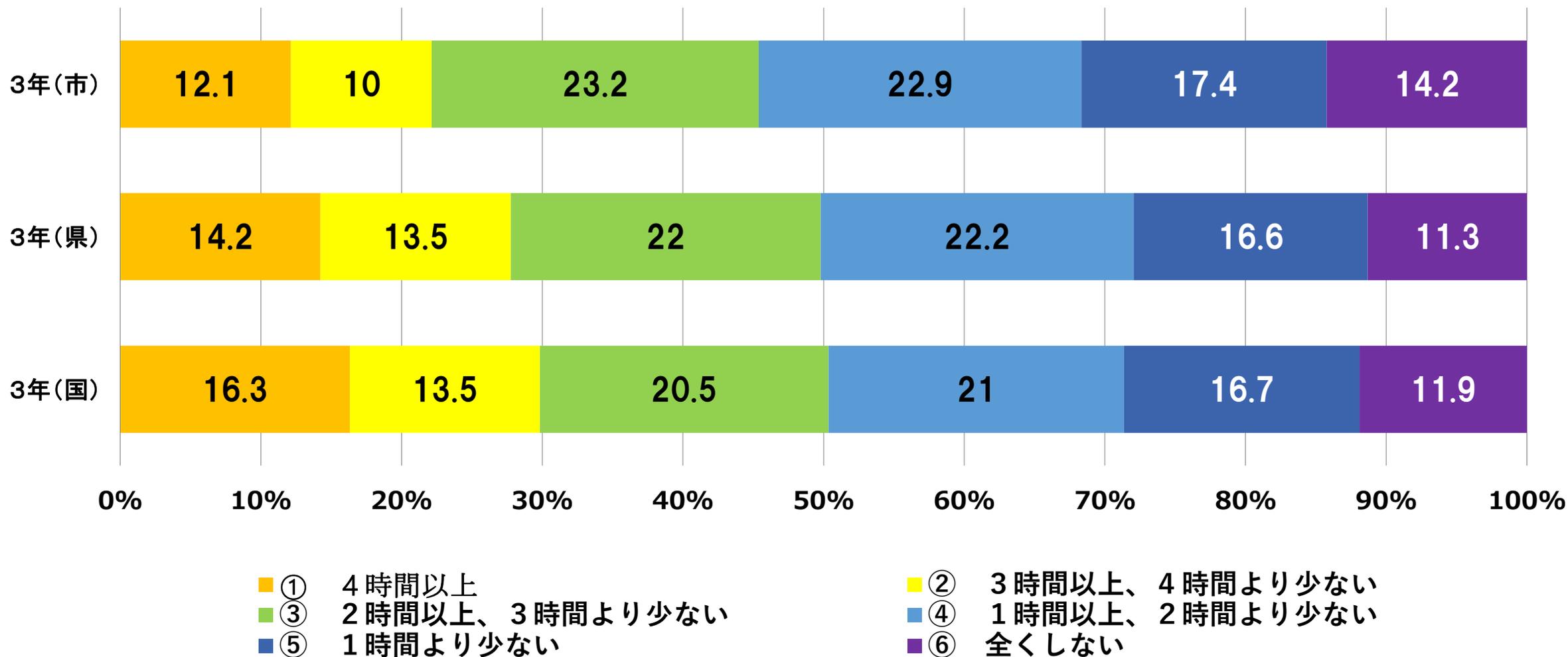
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしていますか

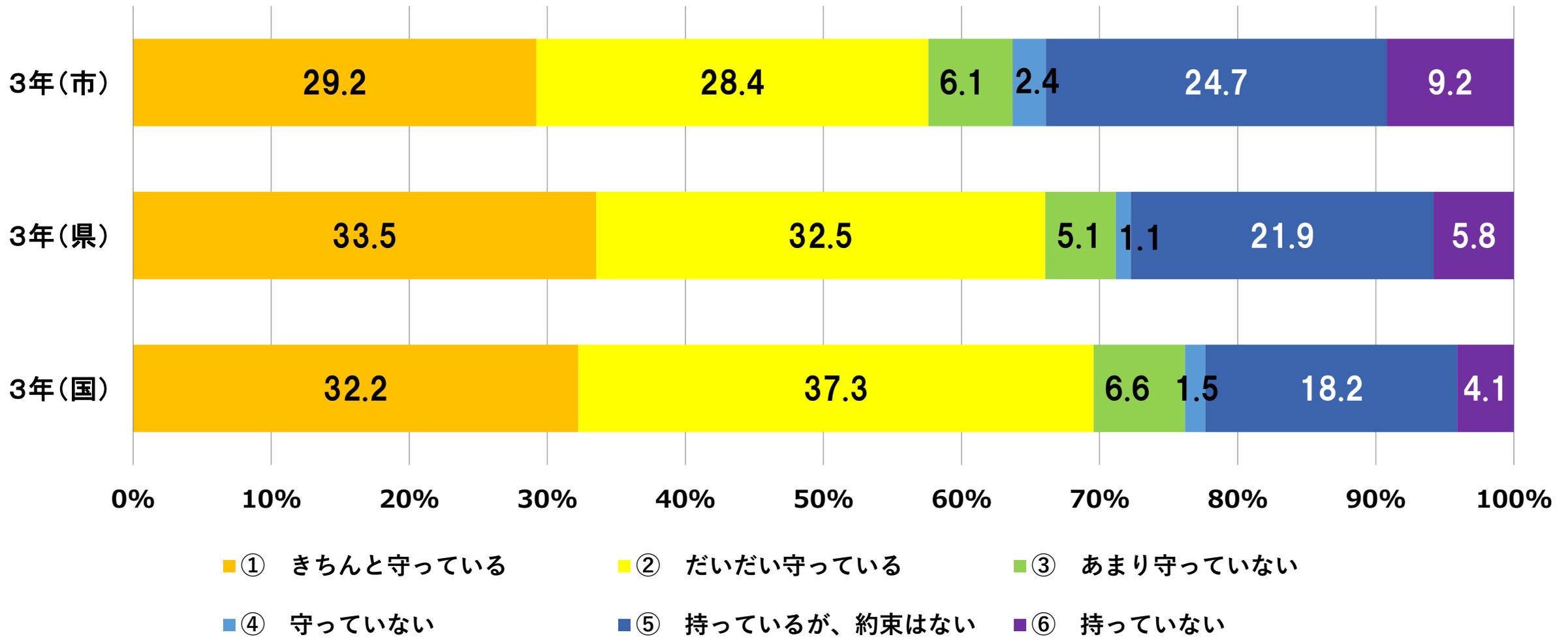


普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

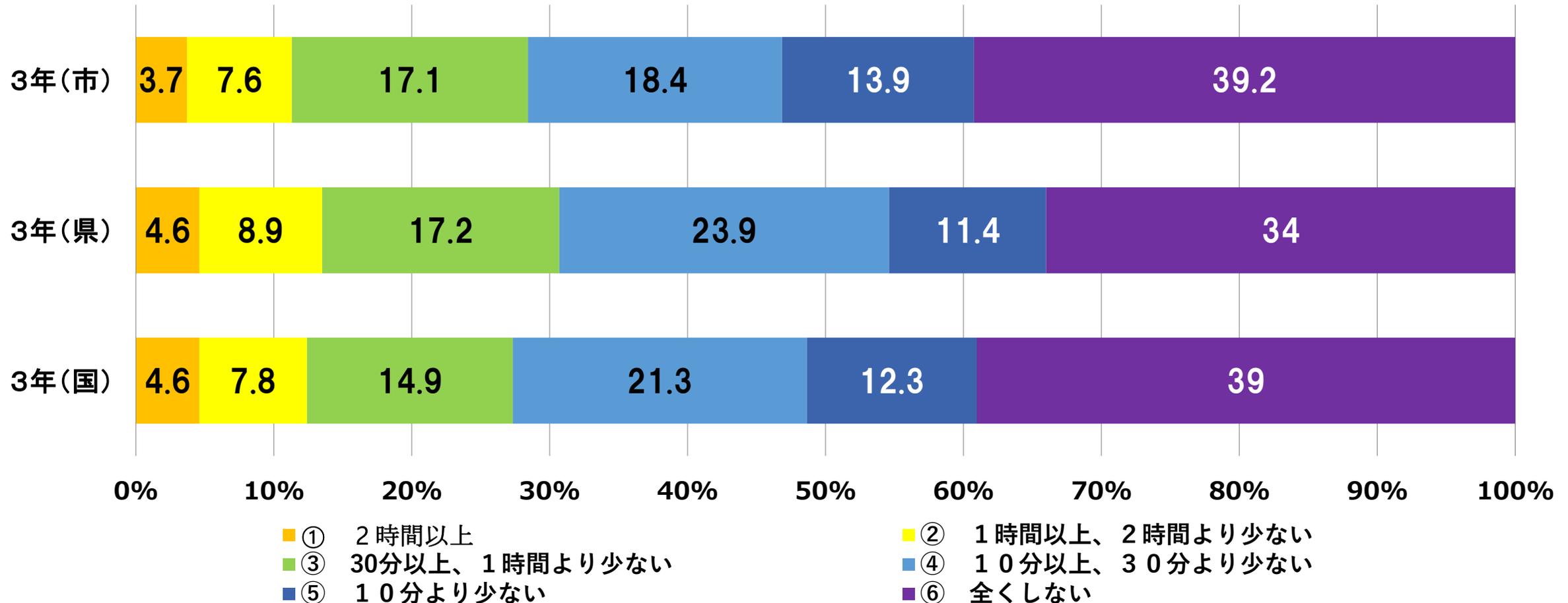


- ① 4時間以上
- ② 3時間以上、4時間より少ない
- ③ 2時間以上、3時間より少ない
- ④ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑤ 30分以上1時間より少ない
- ⑥ 30分より少ない
- ⑦ 携帯電話やスマートフォンをもっていない

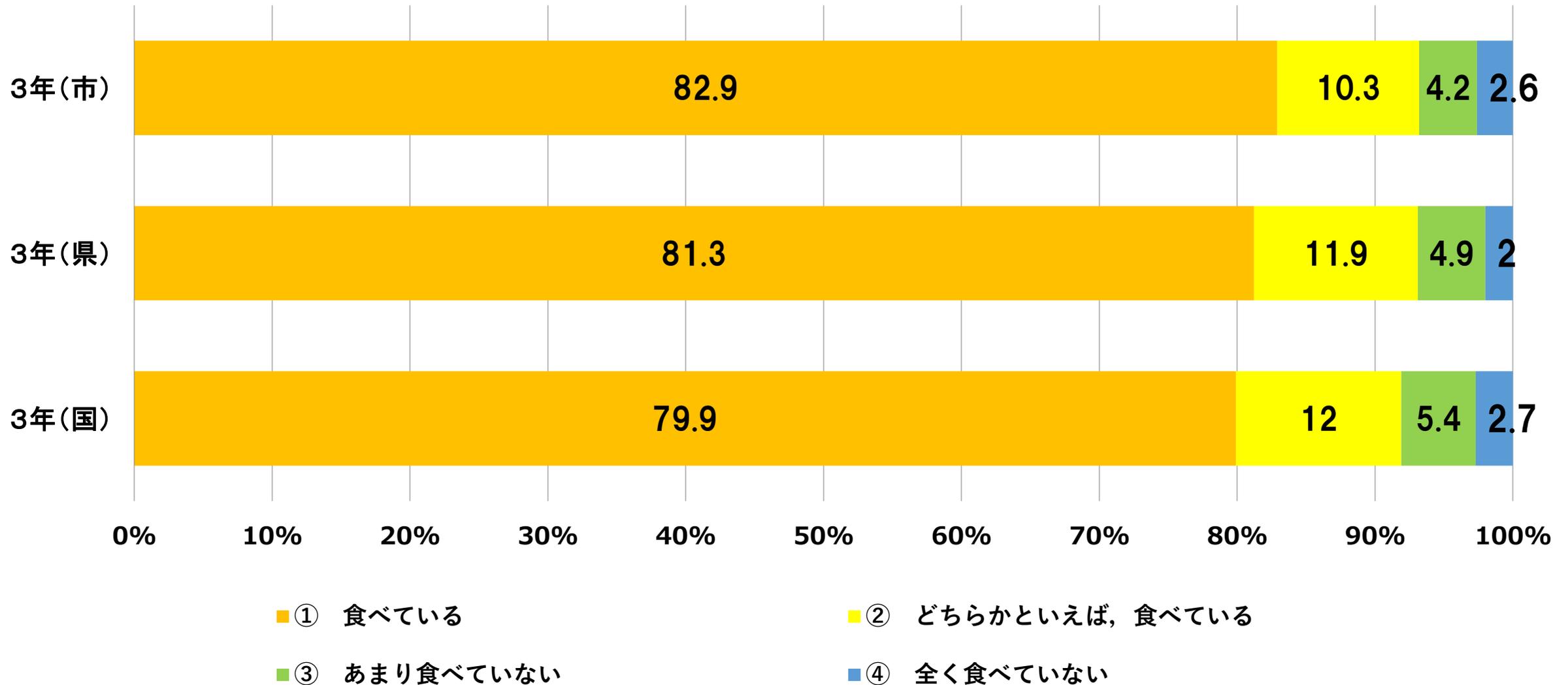
携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の 人と約束したことを守っていますか



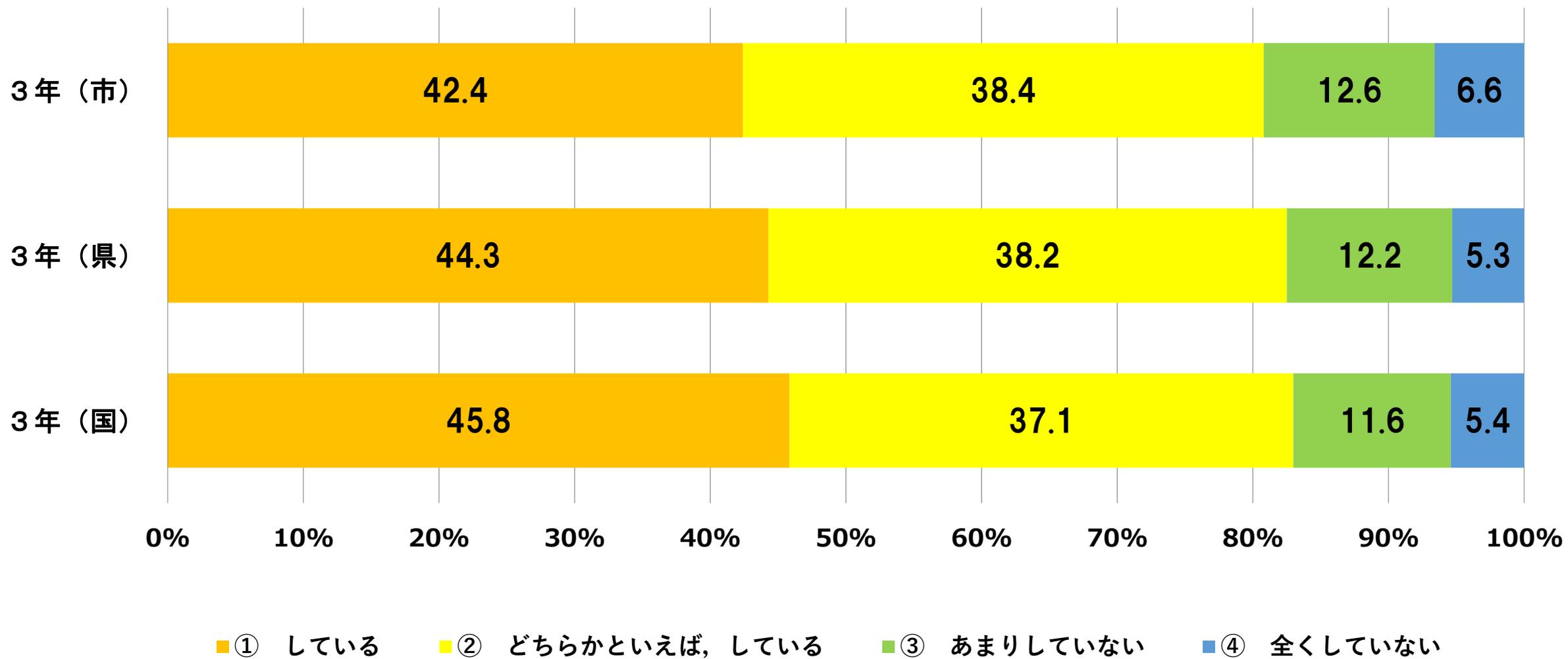
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



朝食を毎日食べていますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか



(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態（中学校）

- 国語の調査では、県を0.04ポイント、全国を0.06ポイント下回った。数学は県を0.06ポイント、全国を0.14ポイント下回った。理科は県を0.06ポイント、全国を0.09ポイント下回った。
- 国語の正答数分布グラフでは、高得点層の割合が全国より少ないが、高得点層の中でも正答数が12問以上（問題数全14問）の割合は、県を0.2ポイント上回り、昨年度を12.9ポイント上回った。全国との12問以上の正答率の割合も昨年度と比較すると、2.7ポイント縮まった。数学と理科の正答数分布グラフでは中間から下位層が多い。全体的に中得点層の底上げが求められる。
- 意識調査の「自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に対して、昨年度は県を6.1ポイント上回ったが、今年度は1.2ポイント下回った。「自分で計画立てて勉強している」生徒の割合は昨年度は66.2%だったが、今年度は54%だった。家庭での学習時間（1時間以上）は、昨年度は県を若干上回ったが、全国を6.6ポイント下回っていた。今年度は、県を4.2ポイント、全国を14.0ポイント下回った。特に2時間以上の家庭学習をしている生徒の割合は全国と比較すると、14.6ポイント下回った。昨年よりその差が広がり、家庭学習の習慣化は引き続き課題といえる。
- 意識調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、昨年度は、79.7%の生徒が肯定的な回答をしていた。今年度は県や全国と比較すると、若干下回っているが、80.4%の生徒が肯定的な回答をし、改善傾向にある。
- 意識調査の「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問に対しては、昨年度は、県を7.6ポイント、全国を7ポイント上回っていたが、今年度は県、全国共に若干下回った。
- 意識調査の「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対しては、昨年度と同様に県を2.3%、全国を0.4%上回っていた。
- 意識調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して、昨年度は「当てはまらない」と回答した児童の割合は、県、全国の1/2であり、肯定回答も県、全国ともに上回っていた。今年度もほぼ同様の傾向であった。

2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

○学習状況調査結果を受けて

- 基礎学力定着のために、生徒の実態に合わせた補充学習を実施したり、自分のペースで「タブレットドリル」を活用したりして学力向上を図る。
- 誤答分析を行って、課題を見つけ、授業や宿題等で補充学習する機会を必ず設ける。
- 新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の改善や職員の指導力向上に努める。
- ICT機器の有効活用の在り方をさらに研修し、ICT機器を積極的に活用した授業の実践につなげる。
- 武雄市では、県からの指定や委託を受けて、研究、実践に取り組んでいく。指定校や実践校での取組を市内の小中学校に広げるために、公開授業等への積極的な参加を奨励する。

○意識調査の結果を受けて

- 昨年度課題だった「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的回答の割合は、改善傾向にある。引き続き、活躍の場の創出を通して生徒一人一人の居場所づくりを進めていく。
- 「将来の夢や目標をもてる」ように、引き続きキャリア教育に一層力をいれて取り組んでいく。
- 「自分で計画を立てて勉強する」習慣をつけるために、計画を立てて学習することの大切さについて各学校で引き続き指導していくとともに、各学校で配布している家庭学習の手引きを一層活用していく。また、平日「家庭学習を1時間以上している」生徒の割合が55%程度で、昨年より13.4ポイント下回っていることから、自分の学習計画と実際の学習時間の相関関係についても、生徒自身が振り返る機会を引き続き必ず設ける。
- 小学校と同様に、携帯電話やスマートフォンの約束の遵守に課題が見られたので、これらとの付き合い方について、家庭と連携しながら進めていきたい。